資料６

「北海道におけるまん延防止等重点措置（改定）（道案）」等に対する主な意見

１　有識者・専門家の意見

１－①
　まん延防止等重点措置の実施期間の延長に伴う重点措置の内容等については、新規感染者数の抑制を図るため、道民、事業者、学校等に対する現行の要請・協力依頼を継続することについて、やむを得ないものと考える。
　現行の感染防止対策において、ワクチンの３回目接種が重要な役割を担うことから、道内において遅れの見られる都市部での接種の促進に努めて頂きたい。

１－②
　道案に対し異論なし。
　ただし，ニュースを見ていても，これ以上何をすればよいのだろうかと言った閉塞感が漂っている。道側からの強いアピールをお願いしたい。
　また，高齢者施設や学校でのクラスターの押さえこみをする具体的な方策を施設や学校に今一度浸透させる必要があるのではないかと考える。

１－③
　無料検査の拡充にあたり、薬局での取り扱いが広がるよう、検査キットの安定的な確保・供給に向けて政府と連携するとともに、市町村との情報共有に努めていただきたい。
　保健所による積極的疫学調査の重点化により、同居家族や病院、福祉施設以外は自ら疫学調査を行うことになっているが、その方法や対応が適正かどうかを点検してはいかがか。

１－④
　道案に異論なし。
　新規感染者数は高止まりしているが、特に札幌市の陽性率と感染経路不明の割合が非常に高い状態である。実際の感染者数は、報告されている数の何倍もいると考えられるので、引き続き注意が必要と考える。

２　市町村・関係団体の意見

２－①
　「感染防止対策と社会経済活動の回復の両立に向けて」にある「無料検査の拡充」について、感染に不安のある無症状の方が、迅速に検査を行えるよう、しっかりと進めていただきたい。